

# えっ、古布って濡れないようにビニール袋に入れても雨の日に出したらダメなの?!

約1ト入る古布のコゴ



以前にも、雨の日には古布を出さないでくださいというお願いを掲載させて頂いたことがありました。半乾きの洗濯物と同じで、古布は濡れるとカビが生えたり臭いがしたりして再利用が出来なくなるからです。

では、濡れないようにガツチリとビニールに入れたら雨の日に出しても良いか? 答えはNOです。ビニールに入れて頂ければ確かに中身は濡れませんが、ビニールは雨に打たれて水滴が付いた状態で回収されてきます。古布は左の写真のような1ト位まとめて詰め込める鉄のカゴに貯めてから出荷します(当社で選別はしないので袋のまま出荷します)が、この中には中身はもちろん、周りに水滴がついているビニール袋も入れることが出来ません。濡れていない古布まで濡らしてダメにしてしまうからです。ですので、雨の日には回収してきた古布はほとんどリサイクルには回せないのので焼却処分されることになりまます。もったいない! じゃあ乾燥すれば? 何トも集まったものを全て乾燥させるにはコストが掛り過ぎます(泣)

こんにちは いつもお世話になっております

# 三栄です

第18号

発行元

株式会社  
三栄サービス

東村山市  
久米川町  
1-16-5

エコアクション21

5~6月にかけて近隣各市で環境リサイクルイベントが開催されました。当社も、所属する東多摩再資協組合のブース出展に協力し、市民の皆様アンケートを行って頂きました。今回は、最近問題になっている禁忌品の①昇華転写紙(アイロンプリント)

以上、貴重な古布資源を大切に活かしていくために、雨の日の行政回収・集団回収には古布を絶対に出さないで下さい。

(※古紙は多少の雨なら資源にならなくなることはないのを出して頂いて構いませんが、雨の日は置き場にシート等をかけて頂くと助かります。宜しくお願いします。)

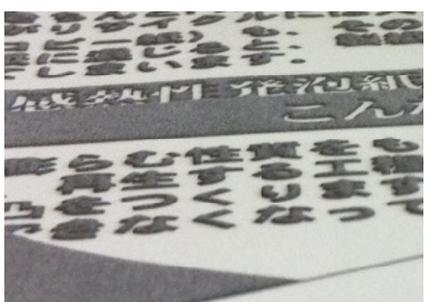
**まだまだ知られざる禁忌品の世界!**

- 禁忌品が及ぼす影響**
- ①昇華転写紙→あじさい化現象というカビのような斑点が出る
  - ②感熱発泡紙→紙の表面に気泡が出来る
  - ③臭いつきの紙→線香や香水などのきつい臭いが製品に残る

ント)、②感熱発泡紙、③臭いつきの紙が禁忌品(リサイクル不適品)であることを知っているかどうか? というものです。9割以上が知らなかったと答え、最初の2つはどんな紙かすら分からなかった方も多かったようです。この3種類の禁忌品に共通しているのは、水に溶けてしまい、製品になった後で悪影響を及ぼすこと



昇華転写紙(アイロンプリント)。転写する為、模様が反対向に印刷される。



写真では分かりづらいが黒い部分が発泡の外により浮き上がっている

紙面をリニューアルしようやく編集ソフトを使いこなせるようになり、今号から紙面を文字も大きく読みやすくリニューアルしました。今後とも宜しくお願いします。

とです。例えば、昇華転写紙は、A4一枚混入しただけで何十トもの再生紙製品に影響が出るなど、被害も甚大です。なかなか馴染みのないものも多々ありますが、分別の徹底をお願い申し上げます。(※詳しくお知りになりたい方は、サンプルがありますのでお気軽にお問い合わせ下さい。)